

第 21 回日本心血管インターベンション治療学会・学術集会が

2012 年 7 月 12 日（木）～7 月 14 日（土）に

新潟県、朱鷺メッセ・ホテル日航新潟にて開催されます。

当院からは臨床工学科 野口 幸 技士長が

7 月 14 日（土）に

学術発表致しますので、紹介します。



English

Home

会長挨拶

開催概要

参加者へのご案内(準備中)

採択演題一覧・演題発表要項

参加登録

オンライン査読(査読委員のみ)

指定演題登録(指定演題のみ)

指定演題登録 コメディカル  
(指定演題のみ)

演題募集

宿泊案内

リンク



# CVIT 第21回 日本心血管インターベンション治療学会・学術集会

The 21st Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics: CVIT2012

原点回帰 Reflect on the original intent

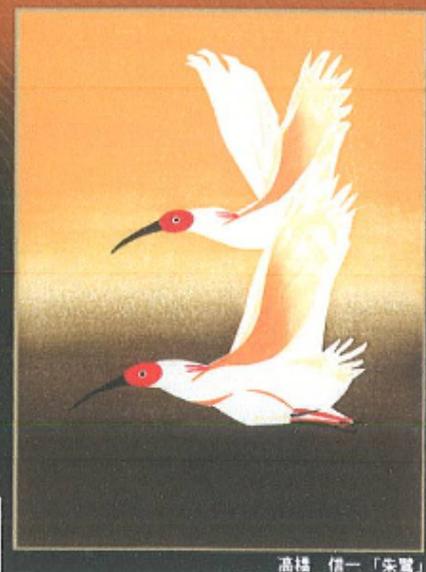
— 医学、そして医療するところ —

— The Principles of Medicine and our mission  
as Healthcare Professionals —

会期 2012年  
7月12日(木)~14日(土)

会場 朱鷺メッセ・ホテル日航新潟 他

会長 小田 弘隆  
(新潟市民病院 循環器内科 科部長)



高橋 信一「朱鷺」

## 新着情報 What's new

- 2012.04.20 [採択演題一覧・演題発表要項](#)を掲載しました。
- 2012.03.23 [指定演題登録 コメディカル](#)を掲載しました。
- 2012.03.15 [参加登録受付、宿泊案内](#)を開始しました。

主催

新潟市民病院 循環器内科  
〒950-1197 新潟市中央区鐘木463番地7  
TEL:025-281-5151(代)  
FAX:025-281-5187

事務取扱

(株)JTBコミュニケーションズ コンベンション事業局 東京営業所内  
〒141-8657 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル3F  
TEL:03-5434-8759 FAX:03-5434-8694  
〈演題・参加登録担当〉  
TEL:06-8348-1391 FAX:06-8456-4105  
E-mail: [cvit2012@jtbcom.co.jp](mailto:cvit2012@jtbcom.co.jp)

Copyright (c) CVIT2012 All right reserved.

## 無症候性透析患者における下肢微小循環障害の検討

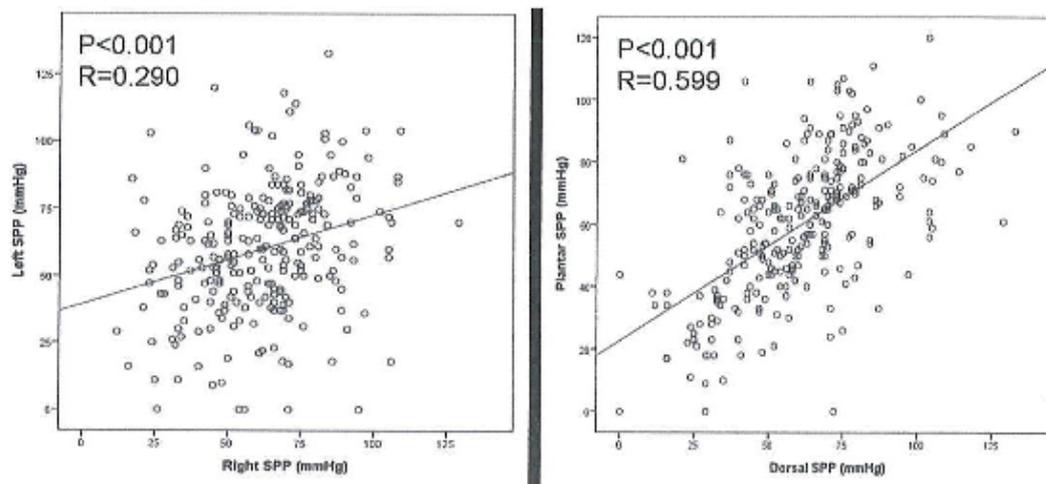
医療法人 康仁会 西の京病院 臨床工学科<sup>1)</sup> 心臓血管内科<sup>2)</sup> 透析センター<sup>3)</sup> 循環器内科<sup>4)</sup>  
野口 幸<sup>1)</sup> 北村充吉<sup>1)</sup> 尾曾正樹<sup>1)</sup> 駒田 暁<sup>1)</sup> 麻野秀人<sup>1)</sup> 上西大輔<sup>1)</sup> 河原田修身<sup>2)</sup>  
渡邊美智子<sup>3)</sup> 青木昭美<sup>3)</sup> 吉岡伸夫<sup>3)</sup> 福井寛人<sup>4)</sup> 奥村啓之<sup>4)</sup> 齊藤精久<sup>4)</sup> 高比康臣<sup>4)</sup>

【背景】透析患者における重症虚血肢が問題とされてきているが、下肢血流に関する検討は少ない。下腿動脈の石灰化を特徴とする透析患者の血流評価法として皮膚灌流圧 (SPP) の有用性が注目されている。

【目的】当院における無症候性透析患者の足の微小循環を SPP で評価検討すること

【方法】対象は 2011 年 5 月から 2011 年 12 月までに下肢虚血のスクリーニングとして SPP 測定を行った無症候性維持透析患者 144 例 280 肢 (男性 81 例)。平均年齢  $71 \pm 12$  歳、平均透析年数  $5.3 \pm 6.0$  年で SPP 測定は非透析時に施行した。

【結果】SPP は左右間ならびに足背足底間に有意な相関を認めた (下図)。さらに右足の足背と足底 ( $61.4 \pm 20$  vs  $61.5 \pm 20$  mmHg,  $P=NS$ )、左足の足背と足底 ( $60.2 \pm 23$  vs  $58.7 \pm 24$  mmHg,  $P=NS$ )、左右の足背部 ( $60.2 \pm 23$  vs  $61.4 \pm 20$  mmHg,  $P=NS$ )、左右の足底 ( $58.7 \pm 24$  vs  $61.5 \pm 20$  mmHg,  $P=NS$ ) においても SPP の有意差を認めなかった



### 【結語】

透析患者において、無症候性であっても下肢の微小循環は両側性ならびに足背足底にかけて障害されることが考えられる。